

三菱地所グループのCSR

CSR に対する考え方

三菱地所グループにとってのCSRとは、「基本使命」である「住み・働き・憩う方々に満足いただける、地球環境にも配慮した魅力あふれるまちづくりを通じて、真に価値ある社会の実現に貢献」することと考えています。そのために、「行動憲章」の柱である「誠実な行動」「お客さまからの信頼」「活力のある職場」の3つを実践し、ステークホルダーと対話しながら、社会に貢献する企業グループをめざしています。

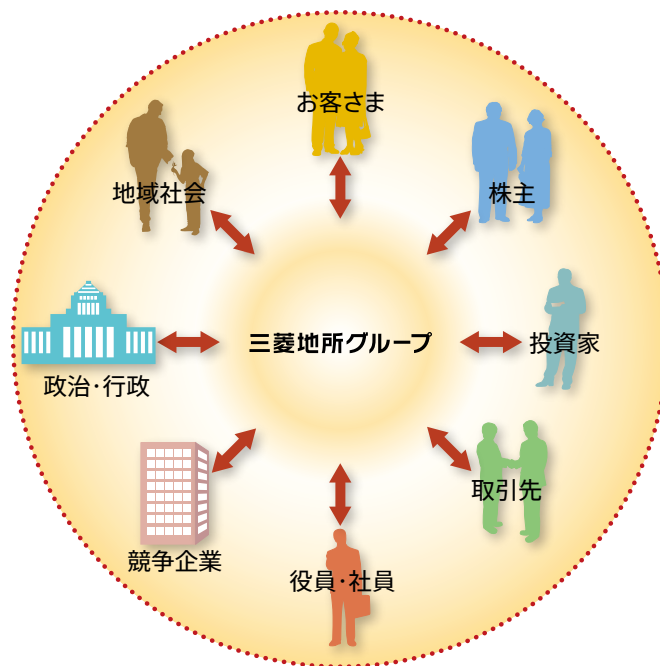


三菱地所グループと ステークホルダーとの関係

三菱地所グループの事業は、お客さま、株主、地域社会、政治・行政や取引先、および役員・社員など、さまざまなステークホルダーとのかかわりの中で成立しています。

まちづくりという事業活動は、その性格上、多くのステークホルダーとかわるものであり、三菱地所グループは、これらステークホルダーの信頼にお応えしながら事業活動を継続的に進めていく責務があります。さまざまな形でステークホルダーと対話し、その声を経営に反映すべく、取り組みを重ねていきます。

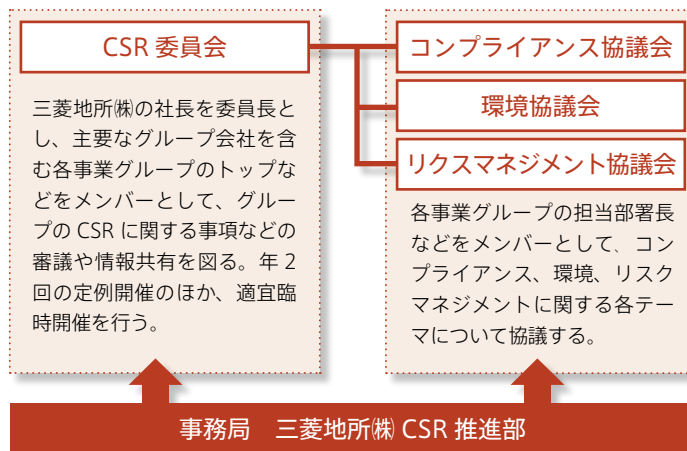
■ステークホルダーとの関係図



CSR 推進体制

三菱地所株では、CSR に対してより積極的に取り組み、これを推進する体制を整備するため、従来から取り組んでいた組織を統合し、2005年4月に「CSR 推進部」を設置しました。同年9月には三菱地所グループ全体のCSR の推進を図るため、三菱地所株の社長を委員長とする「CSR 委員会」を設置するとともに、その事前協議機関として「コンプライアンス協議会」「環境協議会」「リスクマネジメント協議会」を設けています。

■CSR 推進体制



2008年度のCSR 委員会開催実績

■ 第1回(2008年7月:定例開催)

- ・CSR の全体的課題と社外からの評価について
- ・グループ環境経営方針および環境目標策定 について
- ・新規社会貢献活動「(仮称)都市と農山村交流プロジェクト」について
- ・今年度のリスクマネジメント活動について ほか

■ 第2回(2009年2月:定例開催)

- ・CSR 当面の展開テーマについて
- ・グループ環境経営目標策定案について
- ・コンプライアンスアンケート結果報告 ほか

なお、CSR 委員会については、以下の2名の社外有識者にアドバイザーとして参加いただいています。

高 巖氏(麗澤大学経済学部長 大学院国際経済研究科 教授)

江上節子氏(武蔵大学 社会学部 教授)

三菱地所グループのCSR

三菱地所グループの2008年度CSR活動実績と

三菱地所グループの、2008年度のCSR活動実績および2009年度の方針性は以下の通りです。
今後3～5年間で重点的に取り組むテーマとして3つの当面の展開テーマを定めました。

CSR取り組み項目		2008年度の実績	
当面の展開テーマ	環境経営全般	環境長期ビジョンに基づくアクションプランを策定。千代田区の環境モデル都市選出に協力。住宅部門における㈱メックecoライフの設立とエコ住宅物件の試験的取り組みの実施。	
	低炭素社会の実現	CO ₂ 削減に向けたテナントの皆さまとの協力体制「各ビル地球温暖化対策協議会」を設置。	
	環境経営の推進	循環型社会の形成	各事業領域において廃棄物最終処分量を削減。
	環境負荷全般の低減・生物多様性の保全	引き続き土壌汚染、アスベスト対策などの取り組みを実施。	
	環境コミュニケーションの推進	ステークホルダーミーティングの結果を踏まえた施策を実施するとともに顧客とのコミュニケーションの取り組みを実施。	
経営資源を活かした新しい社会貢献活動の推進	グループ全体で取り組む活動の推進	社員の参加と事業との関係を意図した都市農山村交流活動「空と土プロジェクト」を開始。	
	地域と連携した、三菱地所グループらしい活動の推進	大丸有協議会などとともに丸の内エリアで環境啓発活動などを継続実施。場を活用し、さまざまな団体の情報発信などに協力。	
活力のある職場の実現 活力のある人財の育成	意欲と能力を発揮できる職場づくり	新中計の方針を踏まえ、会社の求める人財像と育成施策に関するワーキングを実施し、人財育成の具体的取り組みを策定。	
	人権と多様性を尊重した職場づくり 風通しの良い組織であり続けること	三菱地所㈱の全社員を対象とした人権研修などによる啓発活動を実施。「クロスセクショナルタスクフォース(CST)」の継続実施。	
基本テーマ	内部統制の強化	内部統制システムの整備・運用の改善。財務報告に係る内部統制(J-SOX)の本番年度対応。	
	コーポレート・ガバナンス	リスクマネジメントの強化	リスク分析シートを活用したグループ全体のリスクマネジメントを開始。危機発生時の緊急事態対応に係る実践訓練を実施し、実務レベルマニュアルを策定。
		情報戦略	IT全般統制の整備と評価を実施。
	コンプライアンス	コンプライアンスを優先し続けること	グループコンプライアンスアンケートの結果を踏まえた各社での改善活動の実施。集合形式によるコンプライアンス研修の実施。
	取引先との取り組み	取引先への発注行動指針の実践	引き続き、発注行動指針に基づき適正な発注を実施。住宅事業における施工会社表彰を実施。
	情報開示	説明責任を果たす姿勢	引き続き、情報開示規則を適切に運用。アナリスト・投資家のニーズを反映した決算説明会を実施。
	安全と安心のまちづくり	安全・安心への取り組み推進	ビルPM会社と連携した安全管理活動実施、PM会社による各現場業務標準化支援。外部情報を収集しつつ災害対策全般の拡充を推進。災害対策要員を対象に普通救命講習を定期的・継続的に実施。
	お客さまの視点に立ったまちづくり	お客さまの立場に立つこと	各ビルテナントへの管理サービスの品質維持・向上～ホスピタリティの実現。住宅事業におけるアフターサービス業務の品質向上。各ホテルにおける顧客満足経営目標・方策をベースに具体的取り組み策を策定。

2009年度の方向性

2009年度の方向性

世界的に環境への関心が高まる中、実効ある取り組みを推進。大丸有において環境モデル都市の世界に向けたショーケースたる取り組みを展開。住宅部門では㈱メックeco ライフにて具体的な事業に着手。

行政などの上位計画を受け、三菱地所グループとしての温室効果ガス排出削減に向けた取り組みを推進。

引き続き各事業領域において廃棄物最終処分量を削減。

生物多様性に関する社会動向、同業他社の取り組み状況を踏まえ、三菱地所グループとしての取り組みのあり方を検討。

全体像をとらえ、顔の見えるコミュニケーションをPDCA サイクルにて展開。

「空と土プロジェクト」本格展開(体験ツアー拡大、国産木材利活用の検討など)。

地域連携活動、場の活用協力などの継続実施。
「三菱一号館美術館」プレオープン(9月より竣工記念展開催)。

「人財育成ガイドライン」に基づき、組織的なPDCA フローを整備。新規事業提案/人材公募制度の創設と運用。

さまざまな施策によりハード、ソフト両面から社内でのコミュニケーションを推進。
CST の継続実施と各種コミュニケーション、情報共有の推進。
大手町ビルにコミュニケーションルームを設置し、各種施策を実施。

内部統制システム運用の継続的推進。
新たな連結子会社についてガバナンス体制を構築。

グループ全体のリスクマネジメント推進。
新型インフルエンザ対策など、さまざまな観点から共通リスクへの対応。

業務効率化、情報・ノウハウの共有化などにつながるITの活用を推進(セキュリティ・費用対効果を意識)。

グループ全体としてコンプライアンス向上活動の継続実施。

引き続き、発行行動指針に基づき適正な発注を実施。

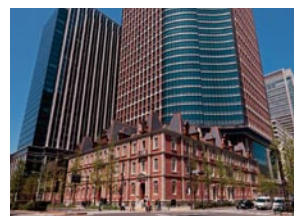
株主・投資家に限らず、各ステークホルダーに対して正確かつ速やかな情報提供の推進。

各事業グループにおいて安全・安心への取り組みを継続推進するとともに、BCPへの取り組みも強化。
震災シミュレーションによるビルの訓練内容の深化、備蓄計画の見直し。

引き続き各ビルテナントへの管理サービスの品質維持・向上～顧客接点の重視。安全・安心をベースにスピーディーかつ柔軟な顧客対応。
住宅事業において品質確保に努めるとともにお客さま意見を商品企画に確実にフィードバック。

※上記は三菱地所㈱を中心とした取り組みを記載しています。

2008年度のCSR 活動ハイライト



「丸の内パークビル」 「三菱一号館」竣工

丸の内再構築第2ステージ第一弾プロジェクトとして2009年4月、「丸の内パークビル」「三菱一号館」が竣工しました。



(株)メックecoライフ設立

三菱地所グループが開発する集合住宅の企画に対して、環境・デザインに関するさまざまな研究・提案を行う新会社㈱メックeco ライフを2008年12月に設立しました。



「空と土プロジェクト」進行中

都市と農山村とを結び、グループの経営資源を活かした新しい社会貢献活動として、「空と土プロジェクト」が2008年度から進行しています。



大手町ビル6階にコミュニケーションルームを開設

活力のある職場に向けた具体的施策の一環として、2009年5月、グループ社員が利用可能なコミュニケーションルームを開設しました。



「DJSI」に9年連続して選定

2008年9月、三菱地所㈱は、Dow Jones Sustainability Index (DJSI) に9年連続して選定されました。



FTSE4Good

「FTSE4Good Global Index」に 8年連続して選定

2009年3月、三菱地所㈱は、英国FTSE社から、FTSE 4 Good Global Indexの構成銘柄として8年連続して選定されました。